**11月21日　Reality Accelerator Founder　竹内　壮輔　氏**

**問１　学んだこと、印象に残った言葉、講師へのメッセージ**

どんなベンチャーに投資をするか、というクイズのときに、当たっている間違っているということは重要ではないということが驚きでした。その時に、「どれだけ素晴らしいVCでもGoogleへの投資をしなかった」「そういうものを当てるのがVCの役目ではなく、投資をした企業を一緒に押し上げていくことが役目である」と聞いてVCのイメージが大きく変わりました。また、ベンチャーがVCから資金調達すると損しているという話も非常に驚きました。（経営学部　1年）

ベンチャーキャピタルとして、より先進的なビジネスを相手にしていることがとても伝わってきた。シリコンバレーと日本の資金システム面での対比や、VCのハンズオン、資金額での2軸での表は全体図が見えて分かりやすかった。ソフトウェア化という考えも自分の無学から知らなかったのですが、とても参考になりました。ベンチャー企業が起業する際に考えることは何かという質問に対して痛みを考えるというのもとても参考になりました。VCの社会性についても、面白い話が聞けてうれしかったです。横国からVCの世界に進まれた先達の方から今日の話が聞けて大変良かったです。(経営学部　1年)

毎回の授業で学生のうちに”起業したほうがい”とか”失敗をいっぱいしたほうがいい”とか言われていたけれど、だからと言ってできるわけもなく失敗して失うものはあまりないからといって怖くてできないよと思っていましたが、失敗するときの方法論を学んでいれば少しは行動しようと思えるし、もし失敗しても失う以上の得るものがあり次につなぐことができるのかなと思いました。（教育学部１年）

世の中のイノベーションを紹介してくださり、大変興味深い内容でした。イノベーションは、世の中の技術と技術の組み合わせであり、天才のひらめきからくる新しい技術でない、というお言葉で、自分のイノベーションという概念が覆されました。イメージでは、理系の天才が実験を繰り返して…というものだったので、私達(経営学部)でも、イノベーションを起こせる、むしろ、経営学部にこそ、イノベーションは必要とされており、ベンチャーキャピタルから投資を得なければならないのだな、と思いました。本日は貴重なご講演ありがとうございました。(経営学部　経営学科　1年)

投資する際には「これがあるから」という理由は特にないと言い切られたところが面白かった。人間性も大事だとおっしゃっており、投資したいと思わせる中身とそれを提案してくる人の人としての魅力、助けてやりたいと思わせる雰囲気も大事だなと思った。ベンチャーキャピタルの取り分について話してくださったのがすごく斬新だったが、それが現実なのだと思うと納得できた。(経営学部　経営学科　1年)

就活に成功したり、その会社で働いたり辞めたり、勉強したり、奥さんについて海外に行ったり、実力が伴うフットワークの軽さが表れたキャリアをお持ちで凄いなと思いました。そもそもレジュメのない授業というのが珍しく斬新で、スライドもスタイリッシュで目標にしたいと思いました。また難しいことを説明している場面でも具体例や具体的な数字を盛り込んだ説明をしてくださるので大変わかりやすかったです。印象に残っているのは面白いベンチャー企業の内容です。スペースデブリやアンテナを立てるなど、本当に面白かったのでもっと聞きたかったです。またその内容から投資する基準やなぜ投資することにしたのかなども具体的に聞きたいです。投資する側とされる側の両方であるというその経験や状況がものを言っているのかなと思います。（経営学部　経営学科　1年）

私自身、ベンチャーキャピタルは資金を提供するものであるため、支援を受ける事業者とVCとの関係は対等ではないのではないかと考えていましたが、実際にはVCと事業者は共に駆け抜けるようなイメージの関係であり、私の考えていた形とは異なるということが分かりました。ベンチャーキャピタルの種類や形態にも様々なものがあり、Acceleratorさんはハンズオンの形で資金提供、事業支援を行っているということが理解出来ました。このように、私の抱いていたVCに対するイメージ変え、その詳細や深みを新たに学ぶ有意義な機会となりました。さらに、最後にお話されていた「イノベーション」にまつわる例は非常に面白いと感じました。「面白いビジネスをいち早く見つけることが出来る」こともVCの一つの魅力であると仰っていた意味を理解することが出来ました。　（経営学部　経営学科　1年）

企業に様々な口出しをして営業させるのではなく、「一緒に走ってあげる」というサポートの形をとるということで、理想ではなく現実的に必要とされるサポートをしているのだと感じた。また、「一緒に走ってあげる」側だけではなく、スタートアップ側の立場でもあると知り、両方の面からのお話を聞くことは今までの講義ではなかったので驚き、新鮮だった。終盤で紹介されたシリコンバレーの様子では、私が体験した事のないものがたくさんあり、それを作っているのが最先端の様々な会社なのだと知ることができた。日本の企業や経営の事情でさえもあまり知らないので、世界には本当に広い世界が広がっているのだと学ぶことができ、まずは身近なことから知っていくべきだと実感した。（教育学部　学校教育1年）

実際に投資するかどうかのA社、B社、C社の問題がとても面白かった。ヘルス系の会社が負うリスクの大きさの不透明性や、真偽をはかれないものには投資しないというお話がとても新鮮に感じられた。売り上げを得ているかという観点だけでなく、その会社が持つ市場や情報量やネットワークに対して評価をして、月10万円が300万円にまで売上を上げたのにはとても驚いた。シリコンバレーでの、「ハードウェア屋がソフトウェアの分野に手を出して、自動運転しようとしているのがわからない、自動運転などいつでもできる」というお話に驚くと同時に納得しました。“「人の痛みに焦点を当てる」ことでお金を生むビジネスの始まりになる”（経済学部　１年）

1番印象に残ったのは、71475億円というアメリカの投資額に対し、1302億円しか日本はないという事実です。アメリカは世界の中心であり最も産業が盛んであることはわかっていたけれど、それでも日本も並ぶくらいだと思っていたのにこのような差があることに驚きました。そこにはアメリカと日本の国民性に原因があると聞き、やはりチャレンジ精神というのは大事だと改めて思いました。(経営学部　1年)

宇宙系のビジネスを考えている方のお話は今まで聞いたことがなかったので大変面白く感じられました。また、それに限らず、今の社会を何かしら、変えるためにアクションを起こそうとしている方が沢山いるのだということが分かり、“ベンチャーキャピタルは面白い”の一端がわかったような気持ちになりました。このような取り組みをされている方は社会に対し、何か新しい角度から貢献しようとしている、新しい顧客を作ろうとしている、と言えるのではないかと思います。これを考えた時イノベーション＝社会に新しい価値を生み出すという意味がとてもしっくりきたように思えました。ただの技術革新だけでなく、顧客を自ら作るためイノベーションを行なっているのだと感じられました。このようなイノベーションを行うためにはその前提として、マーケティングが大切だと思います。（経営学部　会計・情報２年）

シリコンバレーと日本のベンチャーが育つ環境の整い方の差に驚きました。日本は切腹文化であるが、米はfail harderの文化である、とおっしゃっていました。日本の切腹文化に合わせた、とまでは言いませんが日本人の性格に合った企業のシステムができたらなあ、と思いました。（経営学部１年）

**問２　今後のアクションに繋げていきたいこと**

コスプレを作って売るというのはもうからないから投資しない。という単純な考えではなくて、その良い点、「ネットワーク」があることを見逃さずに判断するのは、とても大事だと思った。何かを判断するとき、様々な角度から考えられるようにすべきだと思った。（経済学部　経済学科　1年）

ベンチャーキャピタルには興味があったので今回の講義の内容を踏まえて学びたいと思った。また情報を知るにあたって「会う」ということが一番大切だということが分かったので、積極的に関わることや、VCのインターン等に行くことをしようと思いました。（経営学部、経営学科、1年）

人々の痛みをアクションにつなげるというのが面白いなと思いました。社会で困っていることや、足りないことを修正するのは起業につながるというのが納得したので、自分の生活での困ったことなどを記録にとどめていきたいと思いました。（経営学部、経済学科、1年）

自分は今交換留学生を目指していてサンノゼ州立大というシリコンバレーの近くの大学を第一志望にして申請しました。しかし、実はまだスコアが取れておらず更新締め切りが今回で最後です。今回のお話を聞いてより一層やる気が出ました。サンノゼに行くために勉強頑張ります。（経営学部経営学科２年）

**授業スタッフの感想**

いつも”学生のうちに起業したい”や”留学したい”、”勉強頑張る”、”たくさん失敗するために挑戦する”など意識の高いことを書いてくる人は多いです。しかし、講演者が良いといったことをそのまま書いているように感じていた私にとって、自分にしっかりと照らし合わせて考えている上の問２のアンケートはとても素敵だと思いました。講演者の方から聞いた話を自分にしっかりと当てはめた上で今自分がすべきことを考えることができるのが、この講義の素晴らしいところでもあるのだと実感しました。今後講演を聴く上で、”自分なら”という見方を忘れずに小さいことからでも細かく考えたいと思いました。

今日は、横浜国立大学経営学部の先輩であり、VCの竹内氏の講義を聴きましたが、いくつか印象に残った点がありました。それは、シリコンバレーの様子を聞き、写真で見ることができたこと、それから、起業をするには傷ついている人の心をよくすることを考えることなどです。次回のタイジ株式会社の堀江氏の講義も楽しみです。ローテクでもビジネスとして成り立たせている秘密を知りたいです。